

SDGsリース提供

SMFL、横浜市と連携 市内企業向け

三井住友ファイナン
ス&リース(SMFL)と日本総合研究所は10日、国連の持続可能な開発目標(SDGs)を促すリース商品(S)を横浜市に提供すると発表した。横浜市が推進するSDGs計画と連携したもの

で、地方公共団体との同様の商品は国内初という。月内に提案をはじめ、年間数十億円の契約を目指す。

両社が企画した「横浜版SDGsリース『みらい2030』(寄付型)」で、SMFLが2019年に全

国の企業に向けて開発した商品を基にした。

同商品のリース料の一部を、SDGs活動をする市内の非営利団体に寄付する。日本総研は寄付先の活動を評価し、顧客に報告する。

同リースを導入した企業は、横浜市のSDGs認証制度「YSDGs」を取得する際に加点されるといふ。